

市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点事業）の進捗状況について【事例】

《28年度》

■ 基本コンセプト

新生活のスタート そして、暮らし続けたいまち・いちかわ

【基本目標1】
家族をはじめのまち
・いちかわ

▶ 施策の方向①

いちかわで仕事をはじめ《産業》

▶ 施策の方向②

いちかわで結婚をはじめ《結婚》

▶ 施策の方向③

いちかわで子育てをはじめ《妊娠・出産・子育て》

▶ 施策の方向④

いちかわで学びをはじめ《教育》

【基本目標2】
元気にくらせるまち
・いちかわ

▶ 施策の方向⑤

元気にくらせる地域がある《地域支援》

▶ 施策の方向⑥

元気にくらせる家族がいる《多世代支援》

▶ 施策の方向⑦

元気にくらせる支援がある《医療・介護》

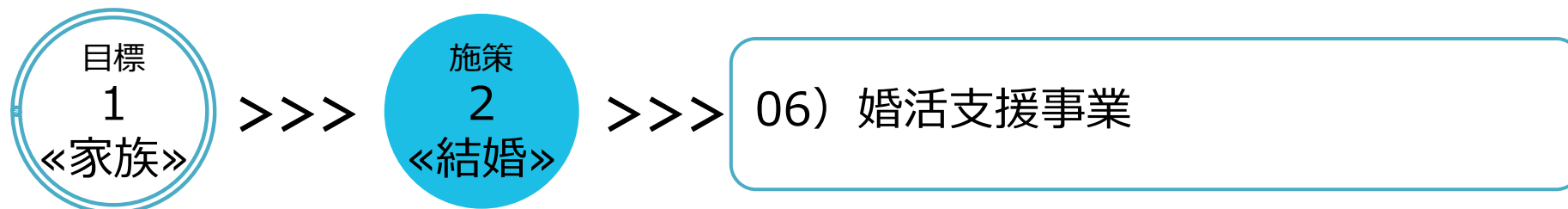
【基本目標3】
選ばれる魅力あるまち
・いちかわ

▶ 施策の方向⑧

まちの魅力をつくる《景観・文化》

▶ 施策の方向⑨

まちの魅力を発信する《シティセールス・観光》



■事業概要

自然体での出会いをコンセプトに、市の様々なイベントとコラボレーションしながら、気取らずに参加できる出会いと交流の場の提供を、1年を通じて行う。

■進捗状況

		平成27年度		平成28年度	
指標		延べイベント参加者数（各年度）			
達成状況等		目標	実績	目標	実績
	数値目標	—	—	80人	142人
	評価	—		A	
実施内容（成果）		—		28年8月より新規事業として開始し、5回のイベントを実施した。なお、シティセールス事業によって広くPRを行った結果、独身証明書を提出した本登録者は361人となった。	
課題		—		イベントにより参加できる人数に比べ、現在の登録者数が大きく上回っており、これを受け入れられるイベントの実施が必要である	
対応		—		多くの登録者が参加できるよう、事業の拡大を検討していく	



第2回料理教室で婚活の様子



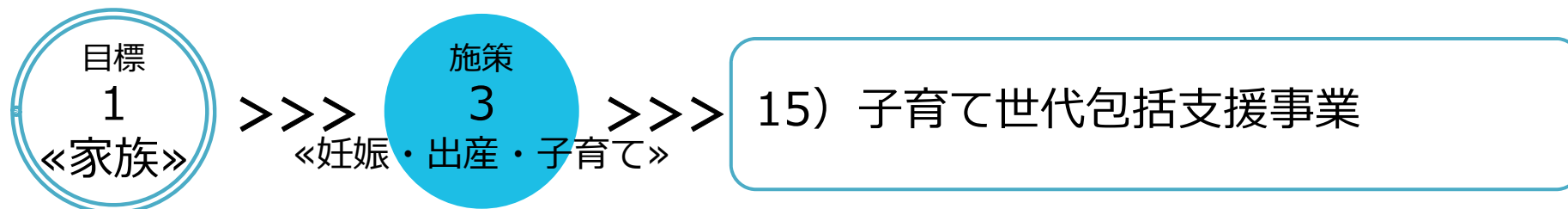
第3回八幡のまち歩きで婚活の様子

○平成28年度実施状況

第1回	28年8月6日	市民納涼花火大会で婚活	参加29名（応募376名）	ペア6組成立
第2回	28年9月25日	料理教室で婚活	参加21名（応募138名）	ペア5組成立
第3回	28年11月20日	八幡のまち歩きで婚活	参加29名（応募136名）	ペア6組成立
第4回	28年12月10日	夜景ツアーで婚活	参加32名（応募129名）	ペア7組成立
第5回	29年2月11日	図書館バックヤードツアーで婚活	参加31名（応募124名）	ペア9組成立

(参加者の感想)

- ・市川市のPRに役立つ。実際に市川に住んでいる人から話しも聞けて将来、住んでみたいなと思いました。
- ・一人一人の顔と名前が覚えられ、アットホームで人数も良かったと思います。
- ・このような婚活イベントに参加するのは初めてでしたが市が主催ということで安心して参加出来ました。
- ・雰囲気や対応、全て温かいもので、婚活イベント参加が初めてで不安な私にはとても馴染みやすい会でした。



■事業概要

妊娠期から子育て期にわたるまでの総合相談支援（ポピュレーションアプローチ）を行う窓口を設置する。妊娠届出時や希望時には、保健師等の専門職が面接の上、妊娠期や子育て期など、ライフステージに応じたその方のための「子育てマイプラン」を作成・提供する。

■進捗状況

		平成27年度		平成28年度	
指標		子育てマイプラン作成件数（各年度）			
達成状況等		目標	実績	目標	実績
	数値目標	—	—	4，400人	3，255人
	評価	—		C	
実施内容（成果）		—		平成28年8月より、市内4か所に母子保健相談窓口アイティを開設。妊娠早期からの支援として、妊娠届出による母子健康手帳交付および面接相談を専門職が行った割合が、約80％（平成27年度35％）を達成した。	
課題		—		保健師等による母子健康手帳の交付および面接相談が100％に達していない。	
対応		—		市川駅行政サービスセンター内に窓口を新設するとともに、窓口の利用を周知する。	



〇〇のアイティ

様 **Am 子育て (妊娠期)** 作成日: 年 月 日

～いつでもお気軽にお越し下さい～
母子保健相談窓口 アイティ (アイティ)
平日8時45分から17時15分

【問合せ窓口】 市川市保健センター健康支援課 047-377-4511

年 月 日 妊娠6か月 安定期 出産予定日 (40週) 年 月 日

妊娠月数	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	41	42
妊娠週数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
妊娠期	妊娠初期				妊娠中期				妊娠後期			
健診の間隔	4週間に1回				2週間に1回				1週間に1回			
ママの体	妊娠成立、つわり、胎動がわかる。体重の増加、胎動がわかる。				胎動がわかる。体重の増加、胎動がわかる。				胎動がわかる。体重の増加、胎動がわかる。			
注意点	早い人は3週あたりからつわりが始まります。安静、栄養、睡眠を心がけましょう。				つわりが強い時期、早めに休養を。規則正しく、栄養バランスのとれた食事を心がけよう。				胎動に気をつけ、胎動が減少したらすぐに医師に相談しよう。体重が増えすぎないようにコントロールを。胎動がわかるようにしよう。			
市川市サービス等	母子健康手帳の交付				プレ観字級(初産の方)の関税(母親学級)				ハッピーマタニティ			
	いちかわっくWEB				産後ホームヘルプサービス							

担当記入欄 作成日 H 年 月 日

☐ マイプランのみ ☐ OB

☐ マイプラン・各種届出 ☐ PHN

☐ マイプラン・相談 ☐ アイティ

作成担当

子育てマイプラン (妊娠期)

○アイティの実施場所 (28年度)

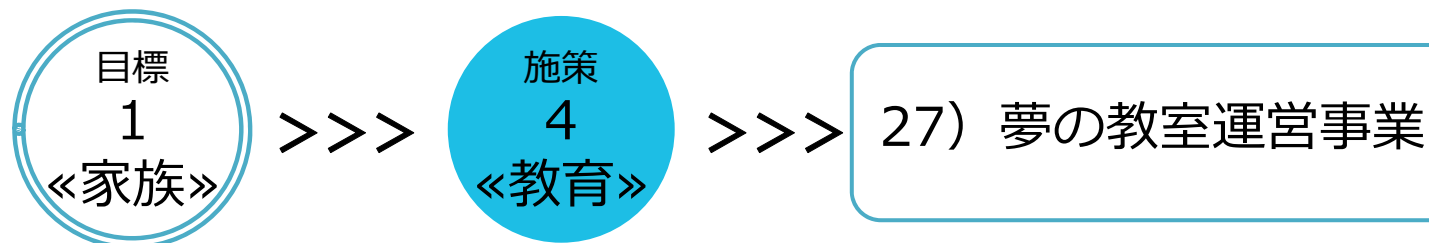
- ・保健センター2階
- ・市役所本庁舎4階
- ・行徳支所2階
- ・南行徳保健センター4階

(利用者の感想)

- ・こんなに丁寧に説明してくれて良かった。母子健康手帳にマイプランを貼り、妊娠が順調に進んでいるか目安にしています (初産婦)
- ・二人目で初めて聞いて利用できるサービスが色々あってありがたい。二人目でも充分ためになります (経産婦)
- ・母子健康手帳に子育てマイプランを貼り付け、発達に関して目安にしています (生後7か月児を子育て中の母親)

「アイティの4つの機能」

- ① 妊娠から子育て期まで切れ目ない支援
: 妊娠・子育てに関する相談すべてに対応
- ② 専門職による母子健康手帳の交付と交付時面談
: 母子健康手帳の交付とともに妊婦の体調等を面談し、情報やサービスを紹介
- ③ 転入者が安心できる子育て情報提供
: 転入した妊婦・子育て家庭にも保健サービス・子育て情報を提供
- ④ 子育てマイプラン作成
: 出産予定日や子どもの年齢に応じた、その方のオリジナルのプランを作成



■事業概要

市内の小中特別支援学校へ、トップアスリート等を派遣し、「夢を持ち、それに向かって努力すること」「仲間と協力して物事を達成すること」の大切さを子どもたちに伝え、体験させることで、夢と真剣に向き合うきっかけを作り、子どもたちを成長させる機会とする。

■進捗状況

		平成27年度		平成28年度	
指標		実施クラス数（各年度）			
達成状況等		目標	実績	目標	実績
	数値目標	9 6 クラス	9 6 クラス	7 6 クラス	7 6 クラス
	評価	A		A	
実施内容（成果）		(公財)日本サッカー協会と連携を図り、今年度対象となった、小学校：15校45クラス／中学校：8校48クラス 特別支援学校：1校1クラス／公募型教室：2クラス（2回） で様々な競技のトップアスリートらが授業を行い、子どもたちへ「夢」の大切さを説いた。		(公財)日本サッカー協会と連携を図り、今年度対象となった、小学校：11校25クラス／中学校：8校48クラス／ 特別支援学校：1校1クラス／公募型教室：2クラス（2回） で様々な競技のトップアスリートらが授業を行い、子どもたちへ「夢」の大切さを説いた。	
課題		—		この2年間で全ての対象校において「夢の教室」を実施したが、私立学校に通う子どもたちなど、市内全ての子どもたちが授業を受けることができていない。	
対応		—		公募型で実施している教室の周知を広く図るなど、より多くの子どもが授業を受けることができるようにしていく。	



夢先生：バスケットボール 阿部友和さん（菅野小）



夢先生：野球 中村奨吾さん（第一中）

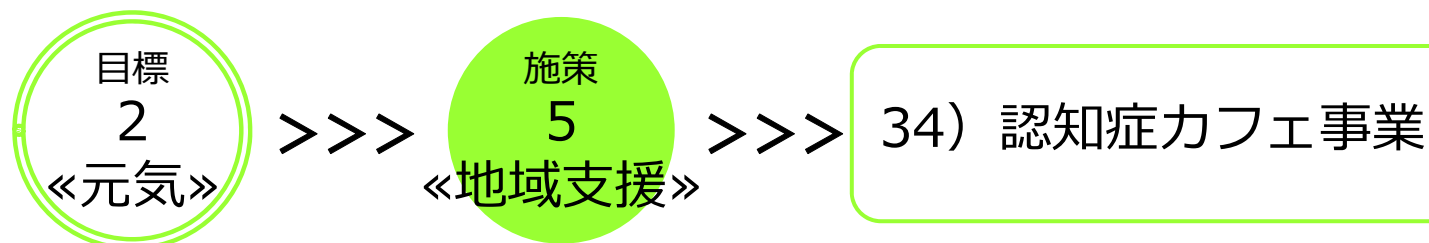
（児童・生徒アンケート）

授業の前後で、「強く思う、充分できている」と回答した割合の変化

○問 努力すること	(事前) 21%	→	(事後) 56%
○問 失敗してもあきらめないこと	(事前) 25%	→	(事後) 52%
○問 助け合い、人に感謝する気持ちを持つこと	(事前) 38%	→	(事後) 63%

（学校の先生アンケート）

- ・体を動かす活動や先生の話聞いたことで、さらに将来への夢や目標に前向きになった。
- ・子ども達が真剣に話を聞き、終了後もいろいろな話をしてきたので、とても貴重な経験になったと思う。
- ・顔つきや表情も明るくなり、前向きに頑張ろうとする姿が見られるようになった。
- ・人の文句を言う前に、自分を見つめられる生徒が増えた。



■事業概要

認知症の人とその家族、地域住民、医療や介護の専門職の人たち等が集い、認知症の人を支えるつながりを支援する「認知症カフェ」を実施する。

■進捗状況

		平成27年度		平成28年度	
指標		実施地区（各年度）			
達成状況等		目標	実績	目標	実績
	数値目標	—	—	4 地区	4 地区
	評価	—		A	
実施内容（成果）		—		認知症の人を支えるつながりを支援し、認知症の人の家族の介護負担軽減などを目的に、新規事業として高齢者サポートセンターに委託し認知症カフェを実施した。実施希望が当初の予定を上回り、4地区の15箇所の高齢者サポートセンターにより、65回の開催計画に対し、28年度は計画どおり65回開催した。	
課題		—		民間によるカフェの設置を推進していくための取り組みが課題である。	
対応		—		来年度より、高齢者サポートセンターへの委託の他、民間による設置に対する補助を行っていく。	

34) 認知症カフェ事業



認知症カフェの様子（ひまわりカフェ）



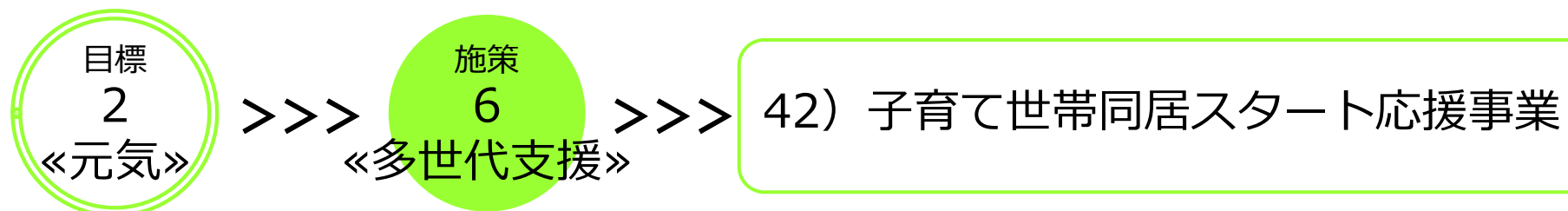
認知症カフェMAP（28年度）

○認知症カフェの活動（例）（29/1/10ひまわりカフェ）

	オープン
14:00～	茶話会（ちぎり絵、歌など思い思いの活動をして過ごしたり、介護者同士の情報交換などを行う）
15:40～	脳トレ（指体操、足踏み計算）
15:50～	次回のカフェのお知らせ、高齢者サポートセンターのイベント紹介

■参加者

・ 認知症（疑い含む）の人	4人
・ 認知症の人を介護している家族	3人
・ 近隣住民	10人
・ 介護・福祉専門職員等	7人
合計	24人



■事業概要

住宅の購入または建て替え等により、子育て世帯と祖父母世帯が同居をスタートする場合に、住宅購入等に対する補助金を支給して支援を行う。

■進捗状況

		平成27年度		平成28年度	
指標		支給件数（各年度）			
達成状況等		目標	実績	目標	実績
	数値目標	—	—	10件	26件
	評価	—		A	
実施内容（成果）		—		平成28年4月～7月で協賛店舗の募集活動を含む準備を行い、平成28年8月より市民からの申請受付を開始し、26件の補助金の支給を行なった。協賛店舗は平成29年3月末現在で46店舗（同一企業の複数店舗含）となっている。	
課題		—		予算の範囲内での交付決定となるため、補助対象要件に適合してもすぐには交付決定できないなど、予算管理が難しい。	
対応		—		同居開始前の事前相談の徹底を図り、予算件数を把握し、時間的な余裕を持って予算を確保できるように努める。	



(制度概要)

■主な対象条件（28年度）

- ①新たな住宅の購入等を行うこと（購入（新築・中古問わず）、新築、建て替え、増築）
- ②新たな住宅の購入等を機に、子ども、保護者、祖父母等が同居を始めること
- ③同居開始時において、世帯に小学校就学前のお子さん（妊娠中の出産予定を含む）がいること
- ④平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に住民登録と登記が完了していること

■助成額

住宅の購入、新築、建て替えまたは増築に要した費用の1/2（上限100万円）

※この制度では、補助金にあわせ民間企業からのタイアップを実施。制度の主旨に賛同し、タイアップいただいた協賛店舗から、『住宅価格の割引』『住宅ローンの金利優遇』などのサービスを提供

(利用者アンケート結果)

○同居スタート前の居住地

	子育て世帯	祖父母世帯
前住所が市内	21	18
前住所が市外（転入）	5	8

○同居を開始した主な理由やその他意見

①子育てや子どものため（18件）

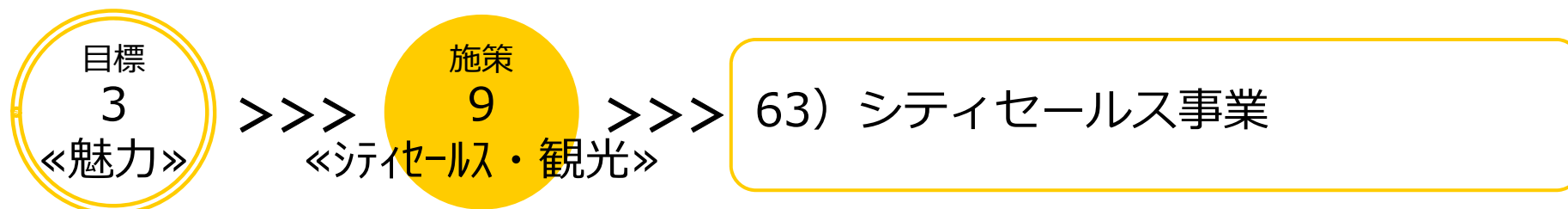
- ・祖父母との交流、家で1人にならないように
- ・子どもの学童開始にあわせて
- ・子どもが安心して保育園・小学校に通えるように
- ・祖父母に子育てを支援してもらうため
- ・子どもの成長にも良い影響があり、環境はよくなると思った
- ・3世代で仲良く暮らしたい、家族が多いと何かと楽しい

②祖父母のため（7件）

- ・将来の見据えた祖母の介護のため
- ・祖母の1人暮らしと子育ての労力を考え、同居が合理的と判断

③住宅の事情（5件）

- ・実家の老朽化、建て替えを機に
- ・子どもが生まれたことで以前の賃貸住宅が手狭になった



■事業概要

総合戦略の重点となる『結婚』『子育て』『景観』などの施策について、公共交通機関の広告媒体等を活用し、総合戦略の推進にあわせたシティセールスを実施する。

■進捗状況

		平成27年度		平成28年度	
指標		実施件数（P R実施事業の件数等）			
達成状況等		目標	実績	目標	実績
	数値目標	—	—	2 件	2 件
	評価	—		A	
実施内容（成果）		—		総合戦略の推進にあわせたシティセールスとして、28年度の新規事業である『婚活支援事業』『多世代家族応援事業』の2事業について、重点的なP R活動を行った。P Rにあたっては、事業の対象者が都内への通勤者が多いことを考慮し、総武線および京葉線の中吊りポスターの掲示、19駅への駅貼りポスターの掲示、雑誌広告の掲載を行った。	
課題		—		引き続き、新規事業を中心に市の新たな魅力として重点的にP Rしていく事業の精査と事業にあわせた有効な広告手段の検討が必要	
対応		—		重点的にP Rしていく事業の対象者にあわせた有効な広告手段を検討していく	

○ 28年度重点PR①事業 「婚活支援事業」



市内各所へポスター掲示



総武線各駅停車へ中吊りポスター掲出

○ PR方法

- ・中吊りポスター（中央総武線各駅停車）
6月20日～6月26日（7日間）
- ・その他、公共施設等各所でポスター掲示・チラシ配布

○ 婚活支援事業を知ったきっかけ (3/31現在)

中吊り、ポスター・チラシ	27.2%
広報いちかわ	23.6%
ホームページ、facebook等	20.5%
その他（家族から紹介等）	28.8%

○ 28年度重点PR①事業 「多世代家族応援事業」

○ PR方法

- ・中吊りポスター
（中央総武線各駅停車・京葉線）
- ・駅貼りポスターB0（東京、新宿ほか、中央総武線各駅停車の主要19駅）
7月25日～7月31日（7日間）
- ・雑誌広告、Webニュースに掲載
- ・その他、公共施設等各所でポスター掲示・チラシ配布



JR水道橋駅の駅貼りポスター

総武線各駅停車・京葉線へ
中吊りポスター